

福岡大学病院における Nutrition Support Team (NST) の現況 —NST 導入とその成果—

前川 隆文 ¹⁾	兼岡 秀俊 ²⁾	秀平キヨミ ³⁾
久保田正樹 ⁴⁾	小河 一彦 ⁵⁾	椎葉 優子 ⁶⁾
田中 敬子 ⁶⁾	樋口 靖子 ⁶⁾	牧 孝将 ¹⁰⁾
内山 将伸 ⁷⁾	吉住亜紀子 ⁷⁾	山下 孝明 ⁸⁾
高橋 英美 ⁸⁾	結城万紀子 ⁸⁾	大久保久美子 ⁸⁾
倉橋 操 ⁹⁾	山本 葉子 ⁹⁾	横山 昌典 ¹¹⁾
山下 裕一 ¹²⁾	白日 高歩 ¹³⁾	

1) 福岡大学病院 NST 室長, 第二外科講師

2) 福岡大学病院栄養部長, 腎臓内科助教授

3) 福岡大学病院栄養部技師長

4) 福岡大学病院リハビリテーション部

5) 福岡大学病院血液・糖尿病科

6) 福岡大学病院病棟看護師長

7) 福岡大学病院第一外科

8) 福岡大学病院薬剤部

9) 福岡大学病院臨床検査部

10) 福岡大学病院栄養部主任

11) 福岡大学病院消化器内科

12) 福岡大学病院手術部教授

13) 福岡大学病院第二外科教授 (前病院長)

要旨: 福岡大学病院では2004年9月から Nutrition Support Team (NST) 委員会が発足し, その実施組織である全科型の NST 室運営委員会が構成された. その結果2005年4月から実際に NST 活動が開始され, 2005年4月から2005年11月までの8ヶ月間で NST 回診患者数は月平均28人, 延べ患者総数は211人の51症例に及んだ. その内訳は消化器癌による経口摂取不良13/51例 (25.5%), 脳神経疾患による嚥下困難8/51例 (15.7%), 子宮癌, 卵巣癌再発4/51例 (7.8%), 頭頸部腫瘍による経口摂取不良3/51例 (5.9%), 整形外科疾患術後の経口摂取不良3/51例 (5.9%), 心臓外科手術後の経口摂取不良3/51例 (5.9%), 腎疾患・糖尿病6/51例 (11.8%), その他の悪性腫瘍による栄養不良11/51例 (21.6%) であった. NST 回診後の対応は173件で, 栄養食品の追加56件 (32%), 食種の変更54件 (31%), 経腸栄養剤の種類や量の変更36件 (21%), 止痢剤の処方12件 (7%), その他15件 (9%) であった. NST の介入により栄養評価が改善した症例は26例 (50.9%), 不変は14例 (27.5%), 悪化は11例 (21.6%) で半数の症例に改善がみられ, 悪化の症例は原疾患の増悪あるいは癌性腹膜炎による経腸栄養不可の症例であった. また平成16年6月より栄養部ではハーフ食 (主食を半量とし副食を2/3程度に減じた食事) の導入を行った. 平成16年の月平均のハーフ食数は2155.5食であったが, NST 導入後の月平均ハーフ食数は2722.3食に増加していた. 上記の活動内容よりチーム医療としての NST の役割は重要で, 医療レベルの質の向上に寄与すると思われた.

キーワード: 栄養サポートチーム (NST), 栄養評価, 栄養不良